

コシヒカリ生育情報 第3号

令和5年6月20日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309
FAX：025-792-9006

茎数急増！速やかに中干し開始！

【6月20日生育状況】（管内3か所平均、平均田植日5/17）

草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉数(葉)		葉色(SPAD)	
本年	指標値比	本年	指標値比	本年	指標値差	本年	指標値差
40	108%	389	128%	8.5	+0.4	41.3	+2.3

○指標値比較【草丈：やや長い 茎数：多い 葉数：やや早い 葉色：濃い】

○管内の5/20以前田植えのほとんどのほ場が、田植後30日になる前に中干し適期を迎え、中干しを開始している。

○1か月予報では、期間の前半(6/17～6/30)は気温がかなり高くなる見込み(6/15新潟地方気象台発表)のため、茎数増加が予想される。

【今後の管理のポイント】

1 遅くとも田植後30日までに中干し開始

(1) 中干し開始茎数となったほ場では、直ちに中干しを開始する。

田植日	対応
5/20以前	直ちに中干し開始
5/25頃	直ちに茎数確認、中干し開始めやす6/21頃
5/30頃	6/25頃に茎数確認、中干し開始めやす6/26頃

【中干し開始茎数のめやす】

m ² 当たり	株当たり
280本	(50株植え) 18本
	(60株植え) 15本

(2) 生育が遅れているほ場や田植えが遅いほ場も、根の健全化を図るため、遅くとも田植後30日までに中干しを開始する。

(3) 中干し期間中に高温が続き、田面が乾きすぎて大きなヒビが入りそうな場合は、走り水を行う。

2 溝切りは必ず実施

(1) 中干し効果を高めるとともに、フェーン等緊急時のかん水や秋の長雨による停滞水の排水を容易にするため、溝切りは必ず実施する。

3 病害虫防除の徹底

(1) 6月12日以降、いもち病に感染しやすい条件が出現している。いもち病の早期発見に努める。

(2) 斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、畦畔・農道の除草は雑草が結実しない間隔で行う。

農作業時の熱中症に注意しましょう。こまめな水分と塩分の補給や休憩が大切です。